



三郷サンサンハウスの三つの理念

- 1 住み慣れたまちで暮らしつづけるために必要な支援を幅広く行ないます
- 2 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します
- 3 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います

三郷サンサンハウス
三郷町三室2-5-22
三郷町東信貴ヶ丘1-2-27
三郷町東信貴ヶ丘1-5-12
Tel /0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
<http://www.3533house.com>

新緑が美しい季節になりました。コロナ収束もまだまだですがお元気にお過ごし下さい。

今年度の定例総会が6月12日におわりました。役員の改選、21年度事業報告と決算報告、22年度の事業計画と予算案はすべて承認いただき、22年度に向かって出発致します。

コロナの影響は経営面でもまた職員の心身の疲労度にも影響を及ぼす中、各事業所は管理者を先頭に利用者を大切にした介護を行ってきました。理事長上野登志子、副理事長岡田登志が退任し、新しく理事長に重松知子、副理事長に岡本真弓が就任しました。

顔ぶれは変わりましたが、これまで同様事業所を牽引してきた若いリーダーが名実ともにサンサンハウスの中心となり、力合わせてサンサンハウスの理念実現に向かって頑張りますので宜しくご支援いただきますようお願い申し上げます。

新理事長挨拶



三郷サンサンハウスに入職し介護の仕事を始めたときは資格を取ったばかりで全てにおいてわからないことだらけ、アップアップしながらも知識や技術だけではなく人と寄り添う楽しさや難しさなど、たくさんのこと学ばせていただきました。長年在籍したヘルパーステーションから昨年の8月に異動し、現在は萌の里の管理者とケアマネジャーを担当しています。理事長として自分に何ができるのか、事業所の管理者との兼務ができるのだろうかと正直不安はいっぱいですが、いつも一緒に考え支えてくれる仲間がいます。また、私がここでそうしてもらったように、一人ひとりの働き方、生き方を大切に、たくさんの学びの場をつくりたい、なによりもこの地域でその人らしく生きることを支援するこの場所を大切に守っていきたいとお引き受けしました。

理事の皆さんや一緒に働く仲間に支えられ、ご利用者、ご家族、会員の皆様、地域の皆様にもたくさんのこと教えていただき、支援していただいていることで、同じ思いで一歩ずつ前に進んでいく勇気がわいてきます。これからも地域になくてはならないと思ってもらえるように、自分たちにできることを考え取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願いします。 理事長 重松 知子

副理事長挨拶



くるみでは高齢者の方の引きこもりをゼロにしたい！と考え取り組んできました。世間ではヤングケアラーや社会的な孤立などの問題もクローズアップされています。サンサンハウスには「住み慣れた街に住み続けられるために幅広い支援をします」という理念があります。高齢者の支援を掲げて18年走ってきた事業所として、今後はさらに様々な課題に向き合っていけたらと考えます。今回新体制の中で副理事長に就任することになり、前川事務局長とともに重松理事長の補佐をしながら、管理者、そして職員みんなで気持ちを一つにして新たに挑戦したいと思います。

皆様のご支援を頂きますようお願い申し上げます。

副理事長 岡本 真弓

重松も岡本も事業所の管理者を兼任している上に、サンサンハウスが地域の発展に一層寄与したいと大きな夢と課題を持っています。そのため副理事長を二人体制に強化したいと考えていますが、定款変更が必要です。それまで、事務局長の前川直子が補佐致します。

若い元気な指導者を先頭に各事業所を守る管理者達も理事として頑張りますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

またNPO法人三郷サンサンハウスの前身である「さんさん会」の代表で、サンサンハウスの理事として設立に関わってこられた明山久子氏が今回退任され、お母様の後姿を見てこられた明山史子氏が新しく理事に加わって下さいました。

若い力でこれからも高齢者の願いを大切に三郷サンサンハウスの事業を30年、50年と継続して行けることを確信し、私の役割を無事終える事が出来ました。これまで支えて下さったたくさんの方々に心からお礼申し上げます。

私たちがこのように高い理想を掲げて行けるのも、地域の方々の物心両面にわたる暖かいご支援を頂けたおかげです。この紙面をお借りして心からお礼申し上げます。

今後は若い理事や職員を暖かく見守りご指導いただきますようお願い申し上げます。上野 登志子



会費はサンサンハウスを支える大切な財源です。一般会費、賛助会費は寄付金扱いになり、奈良県の所得税控除を受けることが出来ます。これは奈良県議会の条例で指定を受けることが出来ているからです。私たちは条例指定を受けるにふさわしい公正な事業を心掛けています。

(県外の方にはこの特典がありません)

	入会金	年会費
正会員	1,000	3,000
一般会員	1,000	1,000
賛助会員	1,000	3,000

皆様のご入会・ご寄付など物心両面でのご支援を感謝いたします
21年度の会費未納の方は21年度と
22年度分よろしくお願ひ致します。

お家の「したい」「ありたい」

お一人お一人のリクエストをキャッチ&プラン(^_^)

居宅介護支援事業

★☎ 32-3535★



『 会えなくて 母の老いたる コロナるや 』

私には名古屋に95歳の母がいます。大腿骨を骨折し歩けなくなり、今は特養で暮らしています。

「介護の仕事をしているのに、お母さんの世話ができなくてごめんね。」

「いいよ、ほかの人のお世話してあげやあ。」

三郷に転居して6年、三郷サンサンハウスに転職して1年弱。地元で働きたいと願っていましたので地域の方々のお世話をさせていただけることに感謝しています。何でも相談できる諸先輩がたがいるので心強いです。先日の研修で、三郷サンサンハウスは、2002年から上野理事長や三郷町の住民が、老後を見据え「住み慣れたこの場所でサンサンと輝く老後を過ごそう」という思いからスタートしたこと、「一人で過ごせなくなったとき集まれる場所」を作ろうと、真剣に取り組んできた歴史があることを知り、感銘を受けました。奇しくも私も2002年(平成14年)から介護職を始め、早20年が経ちました。「誰かが誰かを支える」共生の時代、これからも利用者様が住み慣れた我が家で心身ともに健康で暮らせますように、幸せにつながる生活の実現にむけて、支援をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

ケアマネージャー 前川 洋子

思いに寄り添う第二の我が家

高齢者の家あかねの里

★☎ 31-3536★



みなそれぞれ 楽しくたいそう

少しずつ以前の生活に戻りつつある日常ですがマスクを外し笑顔で話せる日が一日でも早く来てほしいと願っています。外出が難しい中、共同住宅では少しでも体を動かし足の運動や座って出来る体操をしています。

リハビリやマッサージの先生に来て頂き体のことを相談しながら積極的に体を使うと言う意識が続くよう私たち職員も手助けをし、転倒や事故のないよう見守っています。



機能訓練士の指導



頑張ってね

私たち職員は「手伝う気持ちより待つ心」を養いたいものです。高齢に伴い歩行機能が低下しつつある99歳の利用者さんが車椅子を使わず歩行器を使用し頑張って歩いている姿に私たちも一生懸命になります。足の動きが悪いときにはいつも以上に声掛けをし『右・みぎ もう一步』と声が大きくなります(笑) 90歳になろうかという方が王寺や斑鳩まで散歩に出かけられることには職員皆が『凄いですね』と。Σ(°△°)

私たち職員も普段の生活から運動すること、歩く事が遠ざかっていますが利用者さんと散歩に出かけいつもと違った景色を楽しみたいです。

いつまでも自分らしく生きるために生きがいをもたらし向上を目指した支援が出来たらいいと思っています。
管理者 中尾 めぐみ

どんな障害があっても自分らしくを支援

障害相談支援事業所

★☎ 32-3535★



私たち相談支援専門員が、身体・精神・知的障害を持った方たちの日常生活上の困り事の相談支援をさせていただくにあたり、その方の人生や生活の一部しか知らない中で、心掛けていることがあります。

それは、その方がその障害によって、生き辛さを抱え、それによってその方にしかわからない苦しみや悲しみを内に持っているということ、そのことを理解しようと努力することです。

(私たちには絶対理解はできないからです。) そして、それに寄り添うことです。

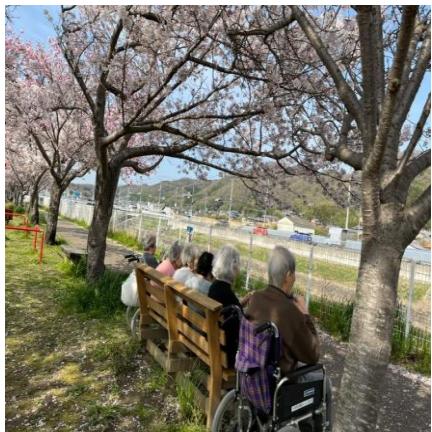
先ずその方の「一理解者」であるよう、静かに応援メッセージを届け続けたいと思っています。

管理者 川島 星子

24時間365日、なじみのスタッフによる在宅支援

小規模多機能ホーム萌の里

☎33-3555★



桜の下でひとやすみ

24時間365日、切れ目のない支援を行う萌の里は、その人らしい暮らしを続けるための支援を柔軟に行っていきます。

日中は萌の里へ利用者が通って来られます。おいしいご飯を食べた後は片付けが取り合いになるほど😊!?

一緒に家事をしたり、買物にでかけたり、好きな読書をしたりと、それぞれが楽しみながらにぎやかに過ごしています。

一人ひとりの生活の流れの中で、その方の暮らしに今必要なことは何かを見極め、ご自宅へ訪問したり、萌の里へ泊っていただいたりしています。泊り

の利用が増えていることや、日中でも静かな環境で少し横になりたい場合があることなどから、宿泊室の増室を検討中です。

皆さんにサンサンハウスの会に入会いただくことや、ご寄付を頂くことで、夢の実現に近づきます。

ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

管理者 重松 知子



展覧会へ 2022年2月



車両での送迎、乗降介助で

安全な外出をサポート

福祉タクシー ★☎ 32-3535★

福祉タクシーは、介護が必要な方のための実費のタクシー事業をしています。
介護の資格を有するドライバーが、安心安全な外出をサポートします。

車椅子に乗ったままでのご乗車も可能です。
料金は、10分760円

(障害者割引10分680円)。

平日(月~金)のみの営業です。

ご利用の際にはお早めに

ご相談・ご予約のお電話をください。

三郷町・平群町・王寺町のタクシー券もご利用できます。

困ったときはお互い様

みんなで助け合い

たすけあいの会 ★☎ 32-3535★

たすけあいの会は有償ボランティアを派遣しています。介護保険の訪問利用では、ヘルパーにできること、できないことの制限があり、「どうしよう」とお困りの方もいらっしゃいます。

そんな時は一度たすけあいの会にご相談ください。もちろん、介護保険の訪問を利用されていない方も、なにかお困りごとがあればご相談くださいね。

基本料金は15分500円からです。

ご希望の日にち等があれば、早めのご相談をお願いいたします。

管理者 杉生 祐加

心からだが元気になる拠り処

サンサンサロン

★☎ 32-3535★



いくつになっても自分をあきらめない

4月から、今まで火曜日（サンサン体操）木曜日（手芸サロン）と別日に行っていたのを木曜日に同日運用させていただいております。サンサン体操の人数が減って寂しくなった事が発端ではございましたが、今まで交流のなかった火曜日メンバーと木曜日メンバーの交流もでき、スタッフ二人も交えて賑やかな木曜日となりました。春にはかわいいおひな様や鯉のぼりを作りました。1月に仕込んだ味噌の出来上がりも楽しみです。お若い頃には色々手作りされてた方も、歳を重ねて細かいことが難しくなったと言われます。それでも、次々と新しい事に取り組んでおられます。



こいのぼり



雛飾り

先日、手帳を開くと「いくつになっても自分をあきらめない」と書かれていました。私の字ですが記憶にありません。おそらく、テレビで誰かが言った言葉を書き留めておいたのでしょう。家から出て他人とかかわるのはエネルギーのいる事です。そして、そのエネルギーは心と身体の健康の為に必要です。サロンに集う方達みんな今日も頑張っています。

サロン責任者 辰巳 雅子

木曜日 10:00~ サンサン体操・手芸サロン
1回 ¥500- ※コロナの影響で午前だけの活動です。
(新規参加者募集中です) 無料体験随時
お問い合わせは0745-32-3535



高齢者・障害者の身体介護・家事援助等の日常生活支援

ヘルパーステーション

★☎ 32-3535★

訪問ヘルパーの仕事の一つに、「日常品等の買物」があります。外出が難しい方や、重いものを持ちながらの移動が難しい方のために買物を代行します。購入品リストは、ご利用者様に書いて頂くこともあります、一緒に必要な品を考えて書くこともあります。その際、ヘルパーは事細かにどんなものなのかお伺いさせていただきます。「あんぱん」とあっても、粒あんなのかこしあんなのか・・・。「大根半分」とあっても、頭の方なのかしっぽのほうなのか・・・。皆さまの希望や好みに合ったものを買ってきたい！！ヘルパーは、そんな思いでスーパーへ向かい、真剣に品物を選んでいます。

ヘルパーステーション 介護士

一緒に働いて下さる方を募集しています！！

事務局（☎ 0745-32-3535）にお問い合わせください

正しいしい姿勢で 動いて笑って いつまでも自分らしく

リハビリティサービスくるみ ~身体重心道~

★☎ 32-3535★



振り返れば職員だけではできなかったことがたくさんあります。くるみの雰囲気は職員とご利用者の方々が一丸となって作り上げているもので、地域の皆さまのご理解によって成り立ちます。日頃の温かいご支援を心より感謝いたします。

先日、ある方と平城宮跡に行く機会がありました。最近腰痛などの影響もあり自宅で過ごすことが多く、引きこもり老人とご自身を表現されていました。出発の直前まで行くか迷っておられた「引きこもり老人」は、(かっこ悪いと乗り気でなかった)押し車を押して、あの広い敷地を朱雀門までスタッフと歩かれ、休憩の後は南極の氷を珍しそうに触って、遣唐使船に迷いなく乗船し、と、周りの心配をよそに興味ある所に向かわれる姿はとても「引きこもり老人」とは思えません。ご様子を見ながら、どんな所なら出かけたくなるのだろうと考えたことが機能訓練特化型のデイサービスくるみを始めたきっかけだったことを思い出し、10年間で出会えた方々に改めて思いを馳せました。

たくさんの方からお花を
いただきとても嬉しいサ
プライズでした♡ありが
とうございました(*^▽^*)



事を担当され、他のご利用者や職員と楽しそうに笑って活き活きと過ごされていました。実際に自宅でやってきたことを引き出す萌の里の重要性に改めて気づいた出来事でした。サンサンハウスは事業所をこえてお互い協力しあっています。その力を借りながらもくるみらしい事業を展開していきます。振り返るとたくさんの出会いがいっぱいあり、家族だけで過ごしている



生活から一步でも出てもらえて、よかったと思ってもらえることが今後のくるみやサンサンハウスの目標だと思えます。くるみに関わって下さるすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。会える時間を大切に、お迎えするための準備を大切に、皆さんとともに歩んでいけたら幸せだと感じます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

管理者 岡本 真弓

おかげさまで、令和4年4月に
リハビリティくるみは10周年を迎えた。



そんな素敵な
デイサービスく
るみ(自称)から、
自宅で出来てい
た家事などが難
しくなったため
萌の里の利用に
変更された方が
います。萌の里に
お訪ねすると、家

